

## 岐阜県議会議員への 岐阜県木連ほか林材業五団体の要望を実施！

—— 非住宅分野の建築物における県産材利用の促進等を要望 ——

平成30年9月20日（木）午後13：15より岐阜市藪田南二丁目の県議会議会棟大会議室において、毎年の恒例行事になっている林業関係懇話会の県議会議員に対して、林材業関係五団体

（県木連、山林協会、森林組合連合会、林業経営者協会、森林施業協会）が県議会議員要望等を実施しました。県木連は丸山輝城会長から次の要望・提案を行いました。（藤沢）



要望説明する丸山会長



会場の様子

### 提案・要望内容

【岐阜県木材協同組合連合会】

#### 1. 非住宅分野の建築物における県産材利用の促進

##### (1) 県庁舎の再整備（建て替え）、「（仮称）木のふれあい館」における県産材の利用

- 新庁舎には「岐阜県庁舎再整備基本構想」にあるように、県産木材を積極的に活用されるよう、また「（仮称）木のふれあい館」においても同様な事項を要望する。

○県庁舎再整備、「（仮称）木のふれあい館」における、内装材、外装材、壁・床材等の構造材に一般製材品等を活用した県産材利用の推進

##### (2) 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への県産材利用促進

- 2020年（平成32年）に開催される東京オリンピック・パラリンピック関連施設建設に関連して、次の項目を要望する。

○東京オリンピック・パラリンピック関連施設への県産材利用活動の強力な展開

##### (3) 公共建築物の木造化・内装木質化を支援するための予算の増強

- 公共建築物の木造化・内装木質化を支援するため従来から引き続き実施している事業についての継続実施と、特に次の事業の予算増強を要望する。

○木の香る快適な公共施設等整備事業

○ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業

**(4) 農林水産・商工業施設等における県産材利用の促進**

- ・民間施設を含む農林水産施設や商工業施設において、木造化や内装木質化の一層の促進と道路・河川・公園等の施設での木材利用の促進

○農林水産・商工業施設等における県産材利用の促進

**2. 住宅建設等への県産材の利用推進**

**(1) 産直住宅をはじめとする県産材住宅の建設促進**

- ・新築住宅着工件数は、昨年度を上回っているものの、木材価格は低迷しており、製材業をはじめとして県産材の供給事業者は厳しい状況にある。
- ・県産材住宅等の建設は林業・木材産業の振興、山村地域の活性化に大きく寄与することから、次の項目を引き続き要望する。

○岐阜県産直住宅をはじめとする県産材住宅の建設促進

**(2) 県産桧を使用した住宅、オフィス家具等への利用促進**

- ・最近の木材需要において桧製材品は、家具類も含めて、住宅需要面の変化もあり、需要量、価格においても低迷している。
- ・全国的な製品銘柄を確立し、地域団体商標登録もしている東濃桧においても同様な傾向があり、県産桧を使用した住宅への利用を進めるため、次の項目を要望する。

○県産桧を使用した住宅等への利用推進

**3. 「木の国・ぎふ」の木材産業活性化の推進強化**

**(1) 公共建築物等へのJAS製材品の利用促進**

- ・国や県が整備する公共施設において、構造体に用いる木材は原則として「JAS材」を使用することになっているが、市町村が整備する公共建築物の仕様書においてもJAS製材品の使用を明記していただくよう、次の項目を要望する。

○市町村に対するJAS製材品の利用促進の働きかけ

**(2) 地産地消による県産材等の木材加工体制の強化**

- ・県内木材産業の発展育成のため、次の項目を要望する。

○県内で利用される製材品や木製品にあっては、県内で生産から加工まで一貫して製造されたものを優先的に使うなど、県内木材産業の一層の育成

**(3) 小規模・零細な県内製材工場への県産材丸太の安定供給体制の確立**

- ・小規模・零細な製材工場が多い本県の製材業は、大きな転機を迎え全国一の工場数を有する製材業の健全な発展のため、次の項目を要望する。

○小規模・零細な既存製材工場の県産材丸太の安定供給と販路拡大